



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月25日

上場会社名 株式会社 エスティック
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2019年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年3月21日～2019年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,008	17.1	1,206	19.1	1,166	12.6	792	19.6
2019年3月期第2四半期	3,424	46.4	1,013	58.8	1,035	65.2	662	56.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 802百万円 (24.0%) 2019年3月期第2四半期 647百万円 (50.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	295.12	
2019年3月期第2四半期	243.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,443	5,621	75.0
2019年3月期	7,580	6,294	82.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,579百万円 2019年3月期 6,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		86.00	86.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				94.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,141	8.0	1,762	1.6	1,788	2.5	1,244	9.5	480.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2019年7月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得の影響を考慮しています。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,942,000 株	2019年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	462,970 株	2019年3月期	222,970 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,684,744 株	2019年3月期2Q	2,719,049 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2019年10月30日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、販売状況は米中貿易摩擦、ブレグジット、日韓問題など混沌とした国際情勢の中、中国、欧州、韓国市場で当初予算を下回って推移しております。国内販売は堅調に推移しており全体としてはほぼ予算通りの売上高で推移しておりますが、海外売上比率は低下しております。

利益面では人員増強により固定費の増加があるものの、売上高の増加やネジ締付装置の利益率改善などの効果もあり、各利益額は予算を上回り、各利益率はほぼ前年並みで推移しております。

① 国内市場

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は堅調に推移しております。企業収益は高水準を堅持し設備投資は製造業では減少し非製造業では増加傾向で推移しております。米中貿易摩擦による先行き不透明感が依然継続し今後の経済動向により留意する必要があります。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、全体的には堅調に推移しているものの米中貿易摩擦やブレグジットなどの国際情勢を遠因とした国内設備投資計画の延期や見直しが一部に見られるなど先行き不透明感が増加してまいりました。

品種別販売状況ではサーボプレスを除く各製品売上は堅調に推移しております。

② 米国市場

米国経済は、雇用・所得環境は引き続き良好な状況にあり個人消費は堅調に推移しておりますが、製造業では外需の減速により輸出が低下しており景気減速感が強まりつつあります。

そのような状況のなか、当社販売体制においてはケンタッキー州にある現地販売拠点に加え今年新たに開設したミシガン州の販売拠点も含め米国全体として人員増強を図りつつ、日系、米系自動車メーカーともにハンドナットランナを中心に堅調な販売状況で推移しております。

③ 中国市場

中国経済は、米中貿易摩擦により引き続き外需の低迷が続いており内需も回復が遅れている状況です。自動車産業の設備投資においては政府のインフラ投資抑制策が緩和されつつあるなか先行き不透明感から改善の兆しをみせつつあります。

そのような状況のなか、自動化設備に係るナットランナ及びネジ締付装置の販売は前年を下回って推移しておりますがハンドナットランナの販売は堅調に推移しております。

④ その他の市場

タイ、インドネシア市場が堅調に推移しております。韓国市場は日韓関係の悪化などもあり第1四半期に引き続き当初予算を下回り低調な販売状況で推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高4,008百万円(前年同四半期比17.1%増)、営業利益1,206百万円(前年同四半期比19.1%増)、経常利益1,166百万円(前年同四半期比12.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益792百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、7,443百万円と前連結会計年度末比137百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、受取手形及び売掛金が453百万円、有形固定資産が400百万円増加した一方、現金及び預金が481百万円、仕掛品が513百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、1,821百万円と前連結会計年度末比536百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、短期借入金が増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、5,621百万円と前連結会計年度末比673百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金が増加した一方、自己株式の取得により1,242百万円減少したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、948百万円となり、前連結会計年度末に比べて481百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは888百万円の収入(前年同四半期は102百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,166百万円、たな卸資産の減少額374百万円などの増加要因があった一方、売上債権の増加額338百万円、法人税等の支払額358百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは469百万円の支出(前年同四半期は15百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出457百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは896百万円の支出(前年同四半期は176百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入れによる収入600百万円の増加要因があった一方、自己株式の取得による支出1,262百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、概ね年初計画に近い状況で推移しており、2019年4月25日付の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,500	1,000,366
受取手形及び売掛金	1,458,779	1,912,735
電子記録債権	404,472	281,973
商品及び製品	375,220	366,789
仕掛品	749,066	235,384
原材料	949,512	1,094,854
その他	103,217	116,154
貸倒引当金	△2,120	△2,263
流動資産合計	5,519,649	5,005,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	329,221	829,425
土地	830,106	830,106
その他(純額)	279,050	179,287
有形固定資産合計	1,438,377	1,838,819
無形固定資産	24,015	30,635
投資その他の資産		
繰延税金資産	191,013	160,584
その他	407,973	407,845
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	598,186	567,630
固定資産合計	2,060,579	2,437,085
資産合計	7,580,228	7,443,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,569	284,515
短期借入金	—	600,000
未払法人税等	375,515	355,499
賞与引当金	53,879	61,394
役員賞与引当金	—	15,006
製品保証引当金	73,321	77,424
その他	314,866	200,142
流動負債合計	1,058,151	1,593,981
固定負債		
退職給付に係る負債	210,891	215,301
その他	16,231	12,494
固定負債合計	227,122	227,795
負債合計	1,285,273	1,821,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	5,266,965	5,825,440
自己株式	△218,361	△1,461,081
株主資本合計	6,245,354	5,561,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,678	29,585
為替換算調整勘定	2,029	△11,192
その他の包括利益累計額合計	21,707	18,392
非支配株主持分	27,892	41,802
純資産合計	6,294,954	5,621,304
負債純資産合計	7,580,228	7,443,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)
売上高	3,424,945	4,008,982
売上原価	1,914,741	2,159,475
売上総利益	1,510,203	1,849,507
販売費及び一般管理費	496,791	642,680
営業利益	1,013,411	1,206,827
営業外収益		
受取利息	105	88
受取配当金	2,306	2,678
持分法による投資利益	19,995	—
その他	3,825	818
営業外収益合計	26,233	3,585
営業外費用		
為替差損	4,088	12,948
自己株式取得費用	—	19,327
持分法による投資損失	—	11,314
その他	—	378
営業外費用合計	4,088	43,970
経常利益	1,035,556	1,166,442
特別損失		
固定資産除却損	75,422	—
特別損失合計	75,422	—
税金等調整前四半期純利益	960,133	1,166,442
法人税、住民税及び事業税	269,096	338,816
法人税等調整額	22,592	22,385
法人税等合計	291,688	361,202
四半期純利益	668,445	805,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,096	12,929
親会社株主に帰属する四半期純利益	662,348	792,311

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)
四半期純利益	668,445	805,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,971	9,906
為替換算調整勘定	△6,626	△6,103
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,095	△6,137
その他の包括利益合計	△20,692	△2,334
四半期包括利益	647,752	802,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	642,598	788,996
非支配株主に係る四半期包括利益	5,153	13,909

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	960,133	1,166,442
減価償却費	39,016	52,046
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△143	142
受取利息及び受取配当金	△2,412	△2,767
支払利息	-	162
為替差損益(△は益)	△3,369	358
持分法による投資損益(△は益)	△19,995	11,314
固定資産除却損	75,422	-
売上債権の増減額(△は増加)	△390,252	△338,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△281,106	374,933
仕入債務の増減額(△は減少)	33,175	43,946
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,917	7,515
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,500	15,006
製品保証引当金の増減額(△は減少)	9,700	4,102
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,764	4,410
未収消費税等の増減額(△は増加)	18,070	21,010
その他	△138,694	△115,017
小計	323,726	1,244,716
利息及び配当金の受取額	2,413	2,768
利息の支払額	-	△162
法人税等の支払額	△223,853	△358,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,285	888,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△35,898	△457,216
無形固定資産の取得による支出	△1,496	△8,430
投資有価証券の取得による支出	△3,319	△3,633
その他	25,475	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,239	△469,022
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	600,000
リース債務の返済による支出	-	△927
自己株式の取得による支出	△125	△1,262,047
配当金の支払額	△176,681	△233,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,807	△896,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△873	△3,795
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,635	△481,159
現金及び現金同等物の期首残高	1,167,274	1,429,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,076,638	948,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式240,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が1,242,720千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,461,081千円となっております。